

平成29年12月21日

内閣総理大臣
安倍 晋三 殿

自由民主党 無所属 大阪府議会議員団
幹事長 花谷 充愉
公明党 大阪府議会議員団
幹事長 八重樫 善幸
自由民主党・市民クラブ大阪市会議員団
幹事長 黒田 富士
公明党 大阪市会議員団
幹事長 土岐 恭生

2019年G20サミットの大阪誘致について

我が国は、本格的な少子化・超長寿化・人口減少社会の到来を迎えようとしている。我々に今、求められるのは、まさにこの日本最大の課題に立ち向かい、その時代に合った経済・社会システムを創りあげることである。

我々は経済再生を最優先に、働き方改革、一億総活躍社会の実現などの政策を着実に進めてきた。こうした取組みが功を奏し、「経済の好循環」が回り始めているが、これからが本番である。

折りしも、2019年には経済・金融問題だけにとどまらず、エネルギーや雇用、テロ対策など世界共通の課題についても議論されるG20サミットが初めて日本で開催される。世界に日本が強く発信される絶好の機会である。今後、現地調査などを経て来年2月頃には政府において開催地が決定される。

大阪は古くから新しいことにチャレンジすることで世界に貢献してきた都市である。現在においても、2025年日本万国博覧会の誘致に向け、人類共通の課題ともいえる「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとして、国連が掲げるSDGsの達成にも貢献することをめざしている。

我々としては、下記の理由により、世界に貢献しようとしている大阪こそがG20サミット開催地として最もふさわしい都市であると考えている。大阪開催の実現に向け、政府としても積極的に検討を進めるよう、ここに要望する。

記

- 一、大阪は、健康・医療分野において様々なイノベーションをうみだすとともに、公衆衛生の分野でも企業が有する高度な技術力を活かして多様な製品やサービスを提供するなど、世界に貢献している。
- 一、大阪は現在、万博誘致にあたって、健康で豊かな未来社会の実現やSDGsの取組みを大きく展開しようとしている。こうした取組みが万博誘致・開催を通じて大阪から世界に広く発信されるとともに、SDGs達成の喚起にも寄与するものであり、G20サミットの日本初開催の意義を高める。
- 一、大阪は、空港・鉄道・高速道路など国内外からのアクセスに優れた都市インフラの充実に加え、世界中の多くの人々が安全・安心で快適に滞在できる環境など、国際的な主要会議を行う基盤もそろっている。